

# 平成30年度事業報告

## I 施設の概要

### 1 施設概要

施設種別	医療型障害児入所施設
敷地面積	2,863.42 m <sup>2</sup>
延床面積	3,021.45 m <sup>2</sup>

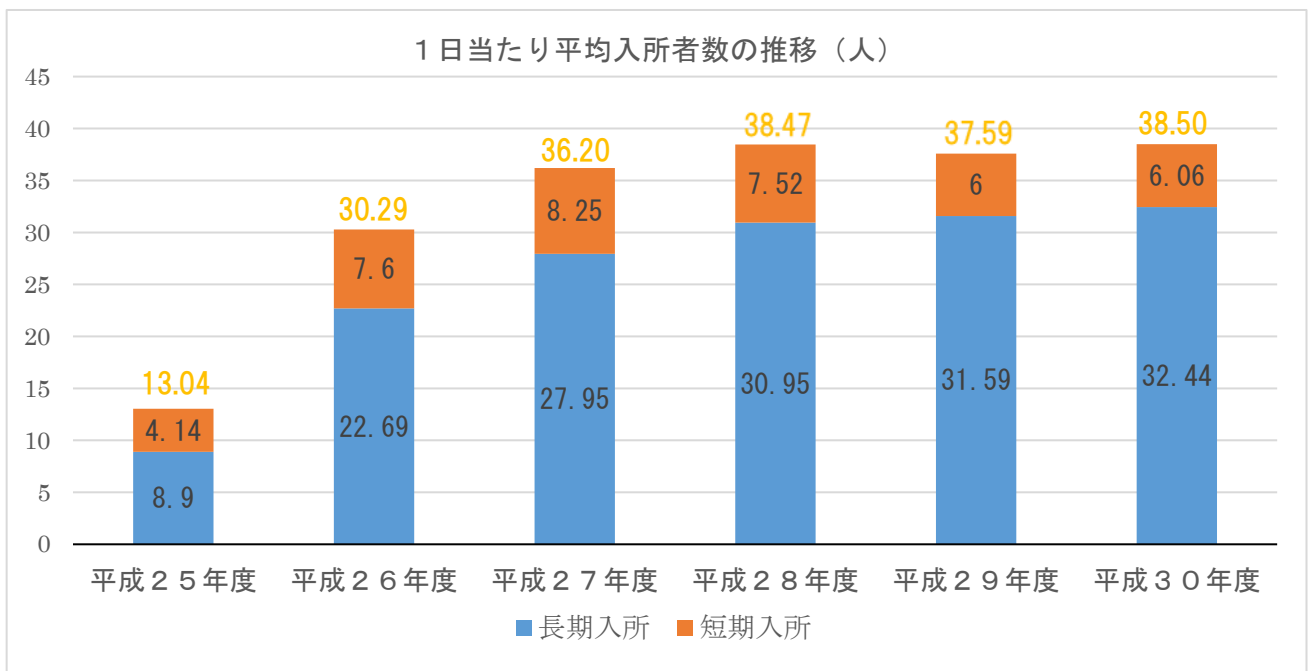
### 2 事業内容

医療型障害児入所（医療法及び児童福祉法）	定員41人
医療型短期入所（障害者総合支援法）	定員3人+空床利用
医療型特定短期入所（障害者総合支援法）	「おひさまルーム」として運営
外来診療及び外来訓練（医療法）	

## II 事業の実施概況

### 1 入所者数の推移

- 平成30年度の1日当たり平均入所者数は、長期入所32.4人、短期入所6.1人の合計38.5人となった。ベッド数44床に対する稼働率は87.5%であった。
- 平成30年度は、長期入所者数及び短期入所者数ともに、前年度を上回る実績を確保することができた。



## 2 長期入所

### (1) 長期入所者の状況

- 平成31年3月31日現在の長期入所者数は32人(男性20人、女性12人)で、入所形態は、措置入所7人、契約入所25人である。
- 居住地別では埼玉県居住者が21市町26人、東京都居住者が5区6人である。また、埼玉県居住者の地域別では西部地域11人(川越市3人、所沢市2人など)、南部地域、北部地域及び東部地域が各4人などとなっている。
- 当施設の大きな特色として、医療重症度の高い児童をより多く受け入れており、人工呼吸器装着者26人、胃・腸ろう造設者20人、経鼻栄養実施者10人となっている。

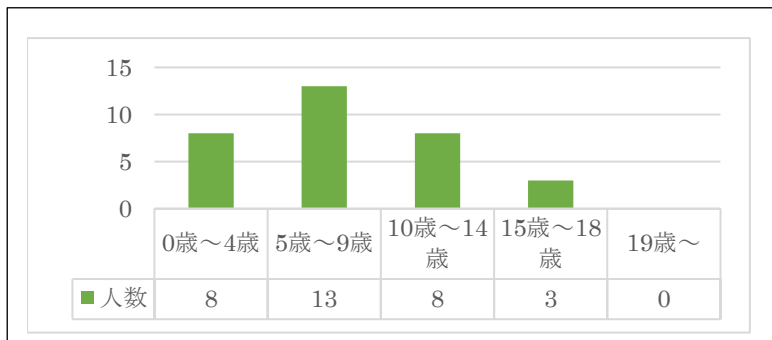
### 長期入所者の状況

平成31年3月31日現在

#### 【入所者数】

合計	32人	男	20人	女	12人
----	-----	---	-----	---	-----

#### 【年齢別】



#### 【入所形態別】

措置入所	7人	契約入所	25人	一時保護	0人
------	----	------	-----	------	----

#### 【居住地別】

埼玉県	26人	21市町	西部11(川越市3、所沢市2、飯能市1、入間市1、富士見市2、川島町1嵐山町1)、南部4(川口市2、和光市1、朝霞市1)、さいたま市1、県央2(上尾市1、鴻巣市1)、北部4(行田市1、熊谷市1、深谷市1、本庄市1)、東部4(春日部市1、久喜市1、幸手市1、蓮田市1)
東京都	6人	5区	板橋区2、世田谷区、港区、足立区2

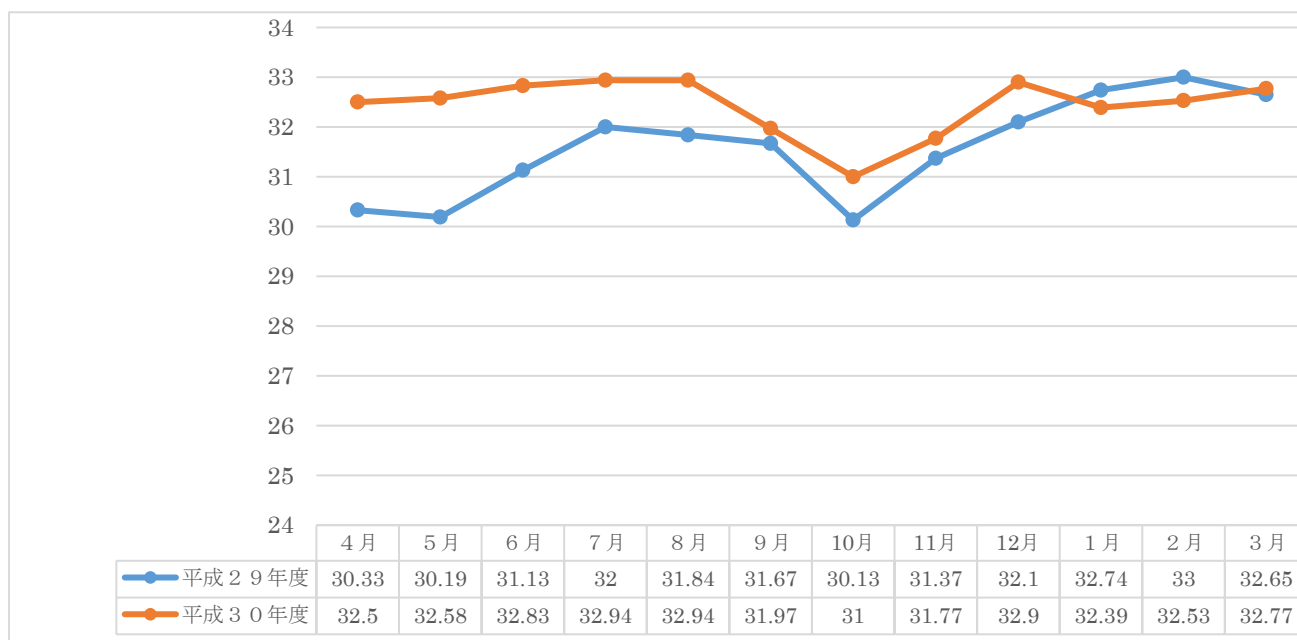
#### 【呼吸・栄養の状況】

人工呼吸器	26人	胃・腸ろう	20人	経鼻	10人
-------	-----	-------	-----	----	-----

## (2) 1日平均入所者数の推移

- 平成30年度の1日当たり平均入所者数は32.4人で、平成29年度の31.6人に比べて0.8人の増加となった。
- 長期入所の受入れに当たっては、短期入所の受入れ状況を踏まえつつ、入所希望児の症状、療養環境、緊急性などを総合的に勘案して行っている。平成30年度中に新たに受入れた児童は2人、退所した児童は3人（全員施設移行）であった。
- 重症度の高い児童を受け入れていることから、病状悪化による管理病院への転院による一時的な入所減が発生することなどにより、毎月の入所者数は必ずしも安定しない状況にある。

1日平均入所者数の推移（人）



## (3) 入所者の療養生活

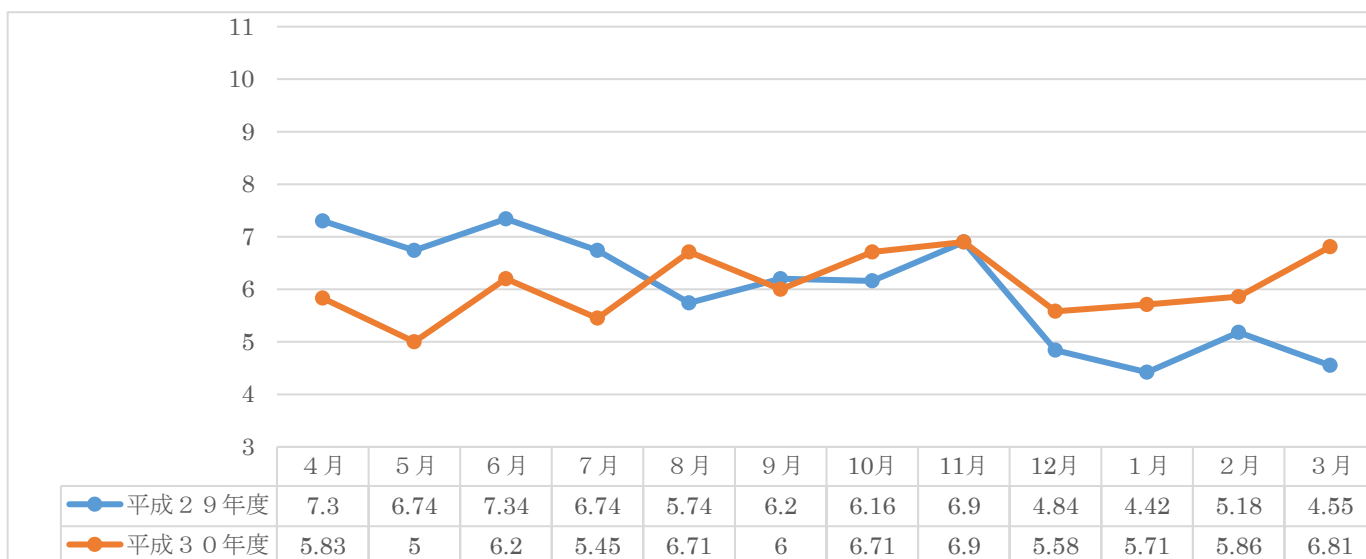
- 日常生活支援の中で、子ども一人ひとりの個性を尊重し、その子にあった成長・発達ができるよう看護・療育活動を行った。
- 子どもたちの「学ぶ権利」「参加する権利」を尊重し、学校活動の支援や四季の行事・活動を看護と療育が協働して行っている。
- 主な行事・活動  
西武ライオンズ慰問（5月）、プール活動（7・8月）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）、誕生日会（毎月）、特別支援学校との連携による入学式・卒業式、運動会・文化祭などを行った。

### 3 短期入所・短期利用

#### (1) 1日平均短期入所者数の推移

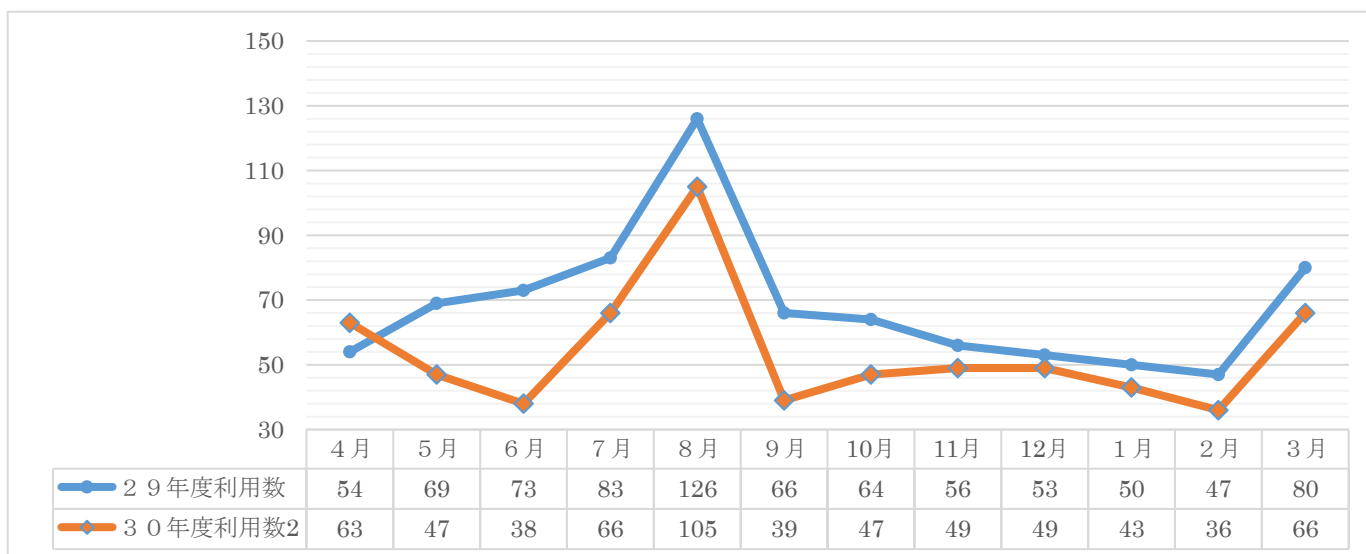
- ・ 1日当たり平均入所者数は6.1人で、平成29年度に比し0.1人増加した。
- ・ 今後とも、社会資源としてのベッドの有効活用を進めるとともに、安定的な経営を確保する観点からも適切な水準の受入に努めていく。

1日当たり平均短期入所者数の推移（人）



#### (2) 特定短期（おひさまルーム）の利用状況

- ・ 1か月当たりの利用者数は55.0人（29年度68.4人）、稼働1日当たりの平均利用者数は2.6人（平成29年度3.4人）を下回る結果になった。
- ・ 夏休みや学校行事など保護者のニーズが大きくなる時期に、職員体制を強化するなどして柔軟な受入に努めたものの、当施設を利用する多くの児童が学齢期にあることなどから減少につながったものと考えられる。



(3) 短期利用者の状況（特定短期利用者を含む）

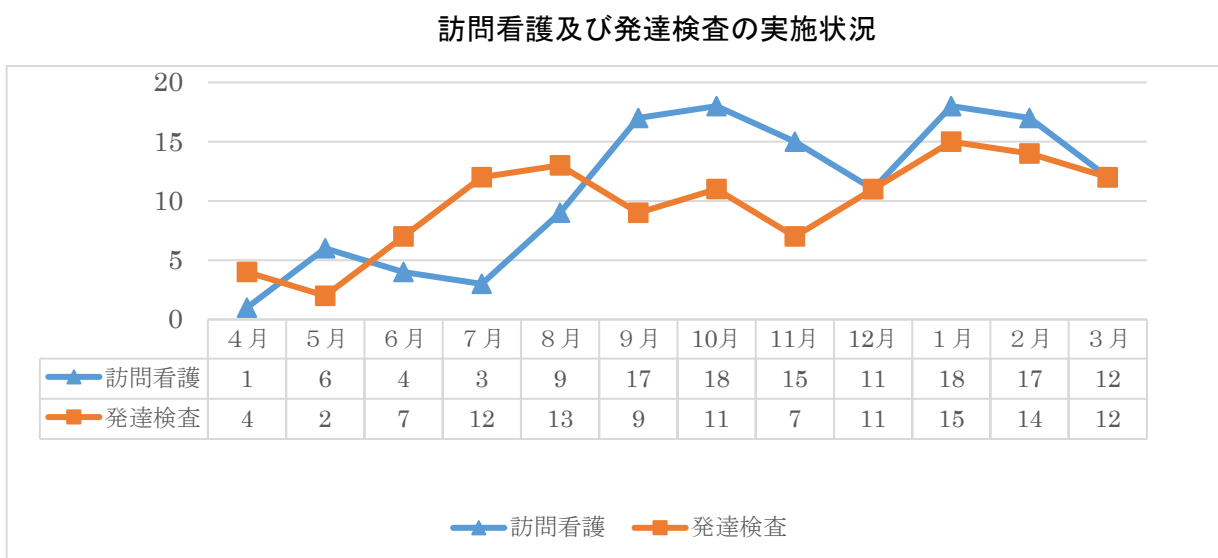
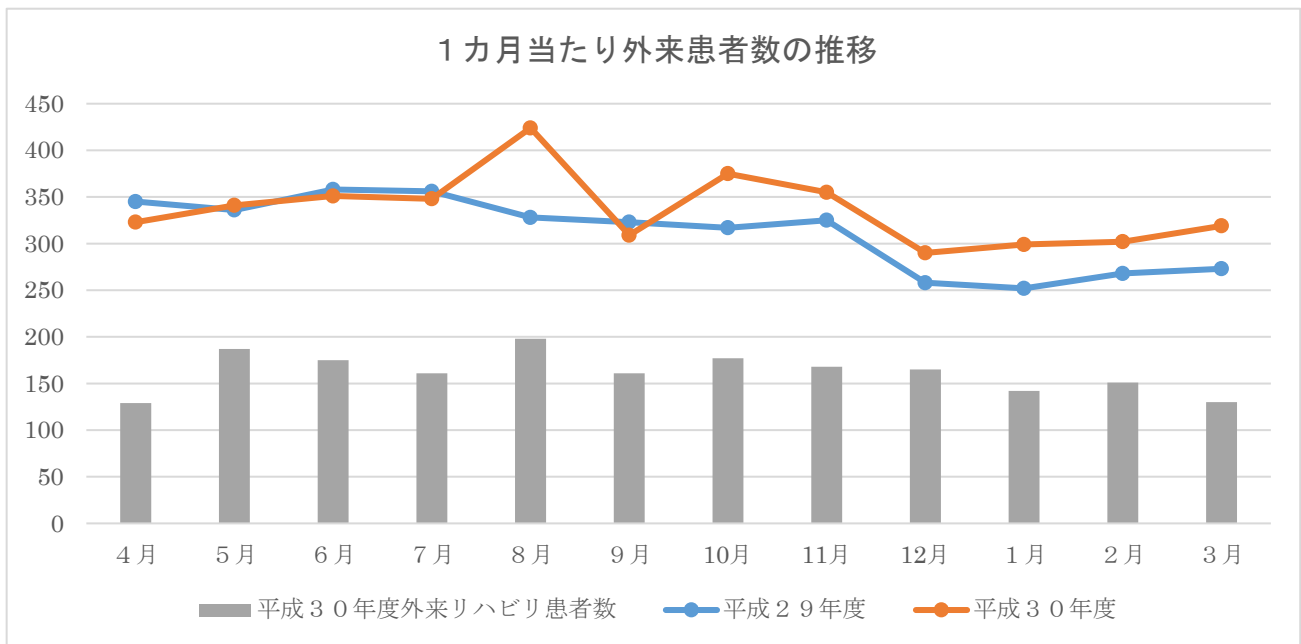
- ・ 特定短期を含めた短期利用者は、利用実人員110人、利用延べ日数2,874日で、うち判定基準のスコア25点以上の超重症児の利用実人員は34人、利用延べ日数は1,190日であった。
- ・ 居住地別では、県内27市町から利用があり、市町別の利用延べ日数及び利用実人員は、川越市794日27人、さいたま市606日19人、上尾市269日12人などとなっている。

平成29年度 短期利用者（特定短期含む）の状況

地区	番号	市町村名	利用実人員	利用延べ日数	うちスコア25以上の人員	左の利用延べ日数	地区	番号	市町村名	利用実人員	利用延べ日数	うちスコア25以上の人員	左の利用延べ日数
西部	1	川越市	27	794	8	475	東部	16	久喜市	2	40	1	14
	2	所沢市	3	33	2	8		17	幸手市	1	23	-	-
	3	狭山市	3	33	1	9		18	春日部市	3	13	-	-
	4	東松山市	2	48	1	16		19	蓮田市	1	13	-	-
	5	坂戸市	2	38	-	-	北部	20	熊谷市	3	48	1	3
	6	鶴ヶ島市	2	55	1	6		21	長瀨町	1	9	1	9
	7	朝霞市	1	27	-	-	県央	22	上尾市	12	269	2	119
	8	志木市	1	3	-	-		23	鴻巣市	4	156	2	107
	9	和光市	1	18	-	-		24	桶川市	2	42	-	-
	10	富士見市	2	33	1	1		25	北本市	4	218	1	52
	11	ふじみ野市	6	145	1	14		26	さいたま市	19	606	10	356
	12	三芳町	2	27	-	-							
	13	吉見町	1	60	-	-		27	福島富岡町	1	1	1	1
東部	14	行田市	1	19	-	-							
	15	加須市	3	103	-	-							
							合計	27市町	110	2,874	34	1,190	
							29年度	27市町	106	2,973	31	955	

#### 4 外来患者の状況

- ・ 平成30年度の外来患者数は、延べ4,036人、1か月当たり平均患者数336.3人で、平成29年度（延べ患者数3,739人）に比べて約7.9%増加した。
- ・ このうち、リハビリ患者数1,944人、1か月当たりの患者数は162人であった。
- ・ 小児在宅医療拠点として障害児の在宅療養を積極的に支援する一環として、訪問看護を実施している。事業の周知、普及とともに徐々に訪問件数が増加し、平成30年度は131人行った。
- ・ また、地域医療連携を推進し地域医療に貢献する見地から、外部の医療機関からの紹介患者に対して発達検査を実施しており、平成30年度は117人行った。



### Ⅲ 法人・施設の運営管理

#### 1 理事会・評議員会の開催状況

##### 【理事会】

開催日	議 題
30.6.1	・平成29年度事業報告について ・平成29年度収支決算報告について ・定時評議員会の招集について
31.3.26	・平成30年度補正予算について ・平成31年度事業計画について ・平成31年度予算について ・就業規程の改正について ・有期雇用職員就業規程の改正について ・給与規程の改正について

##### 【評議員会】

開催日	議 題
30.6.19	・平成29年度決算及び事業報告について

#### 2 職員の状況

##### (1) 職員数（平成31年3月31日現在）

部 門	常勤職員数	非常勤職員数	合 計
診 療	4	0	4
看 護	38	3	41
療 育	17	1	18
薬 剤	1	0	1
栄 養	1	0	1
リハビリ	6	1	7
発達支援	1	0	1
心理支援	1	0	1
相 談	1	0	1
事 務	4	2	6
合 計	74	7	81

##### (2) 採用、退職の状況

- ・ 採用…看護師3名、療育職員5名（うち非常勤1名）、医師4名、言語聴覚士（非常勤）1名、事務1名の合計14名の職員を採用した。
- ・ 退職…看護師5名（うち非常勤1名）、療育職員2名（非常勤）、医師4名、看護助手（非常勤）1名、事務1名の合計13名の職員が退職した。

### (3) 研修の実施・参画

- ・ 職員の資質向上を図るため、認定資格取得のための講習会への参加や外部の専門研修への参画をはじめ、施設内での研修会・勉強会を積極的に実施した。  
遣研修の延べ参加者数107人
- ・ 小児在宅医療支援研究会等の各種研究会や各学会などへの積極的な参加を促進し、日ごろの研究成果を発表するなど職員の自己研鑽の取組みを支援した。  
各種研究会・学会延べ参加者数10人

### 3 実習生の受入れ

- ・ 次のとおり実習生の受け入れを行い、地域の医療・福祉人材の育成に貢献した。

学校名	受入れ延人数
所沢看護専門学校	45人
埼玉医科大学保健医療学部看護学科	44人
埼玉医科大学総合医療センター附属看護専門学校	112人
埼玉医科大学短期大学看護学科	9人
埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科	1人
埼玉福祉・保育専門学校	12人
東京家政大学短期大学部保育科	24人

### 4 各種委員会の活動

- ・ 組織横断的な職員が参画した委員会により、業務の企画、調整、情報の共有など、効果的・効率的な事業・業務の推進に努めた。

名称	目的・内容	開催回数
医療安全対策委員会	医療安全対策の総括、安全管理体制の確保・推進	12
感染対策委員会	感染予防対策の推進	12
褥瘡対策委員会	褥瘡予防対策の推進	12
栄養管理委員会	入所児の栄養管理	12
教育委員会	職員研修の企画・立案	12
災害対策委員会	施設の防災管理、消防計画に基づく訓練の実施	12
記録情報委員会	帳票、電子媒体等の運用基準の検討、広報活動の推進	12
行事・レク委員会	施設行事、レクリエーションの企画・立案	12
虐待防止委員会	虐待被害の早期発見、家族支援等の検討	12
労働安全衛生委員会	職員の安全と健康を確保、快適な職場環境の創出	12
運営会議	施設運営にかかる重要事項の検討、決定	13



## 5 行政による指導監査等の実施状況

- ・ 監督官庁による指導監査等が次のとおり実施され、指摘・指導事項に対して改善及び適正な対応を図った。

種 別	実施日	結 果
社会福祉施設等指導監査 (埼玉県福祉部福祉監査課)	平成30年11月8日	① 歯科診察室を女子更衣室、1階検査室を多目的室とするなどの用途変更をしているので、実態に合うよう県に対して用途変更の届出を行うこと。 ② 避難訓練及び消火訓練ともに、それぞれ月1回以上実施するとともに、訓練後、利用児の避難時の態様、職員の反省点などを含めた訓練の記録を作成し、次回の訓練等に活用すること。
医療法25条に基づく立 入検査 (川越市保健所)	平成31年2月4日	指摘事項なし